

ラストエンペラーズ

松浦 純子

先日死去したエリザベス二世の棺の上には、エディンバラではCrown of Scotlandが、ロンドンではImperial State Crownが載せられた。後者はかつての大英帝国を彷彿させる王冠である。

現在、帝国・皇帝と訳される国家・君主は存在しない。最後の帝国・皇帝は一九七四年に軍部のクーデタで廃位され、翌年処刑されたエチオピア帝国のハイレセラシエである。

第一次大戦前後には大国の帝政が終焉を迎えた。廃位された皇帝はその後をどのように生きたのだろうか。

大清帝国は一九一二年に、宣統帝が退位して滅亡した。その後、中華民国では政府内での混乱の中、大臣の張勳により彼は十二日間だけ清朝皇帝に復位した。そして、一九三四年には日本により満州国皇帝に担ぎ出され、わずか四十年弱の間に三度即位して三度退位した。時勢に翻弄された人だった。最後に退位してからは一般の市民として生きた。

ロシア帝国では一九一七年に、ニコライ二世が二月革命で退位し、翌年エカテリンブルクで銃殺された。発見された遺体が皇帝だと確認されたのは冷戦終結後である。ヨーロッパの祖母と呼ばれたイギリスのヴィクトリア女王があれほど各国に娘たちを嫁がせ、親戚関係を作ったにも係わらず、結局どの国も彼を助けなかった。

ドイツ帝国のヴィルヘルム二世は敗戦後、中立国だったオランダに亡命して、二十三年間裕福な生活を送ったが、皇帝への復位に執着していたと言われている。一度味わった皇帝の味は、忘れがたかったのだろう。

オーストリア＝ハンガリー帝国では、カール一世が大戦後半の二年間だけ皇帝の地位にあった。オーストリアを脱出した名門ハプスブルク家の皇帝は、生活苦の中で四年後にポルトガルで亡くなった。

オスマン帝国では一九二二年に、メフメト六世が退位して十三世紀から続いた帝国が幕を閉じ、四年後に亡命先のイタリアで亡くなった。新しいトルコ政府はイスラーム色を排除した。

ラストエンペラーの多くは処刑や病気で、退位後僅か数年で亡くなっている。頼まれてもやりたいとは思わない。